

セルリアン

四 中 だ よ り

令和3年(2021年)
5月18日(火)
上田市立第四中学校
(担当) 教頭 石原英樹

※ホームページもご覧ください。「上田第四中」で検索 または <http://www.school.umic.jp/ueda4/>

「創造」と「挑戦」 ～令和3年度スタート～

例年より早い春が過ぎ、新緑もまぶしい初夏を迎えています。去る4月6日に、184名の1年生を迎え、2年生178名、3年生181名、全校生徒543名および教職員50名(うち新任職員12名)で令和3年度がスタートしました。



入学式での校長の式辞



新入生の最初の学活

校長からは、始業式と入学式で、同じ内容の話がありました。それはそれぞれの中学校生活の中で「創造」と「挑戦」の心を大事にしてほしいということです。「創造」とは、0から1を生み出すことであり「挑戦」とは、それぞれの壁を乗り越えて、困難に立ち向かっていくことです。話の中で、松下電器産業(現・パナソニック)取締役社長であった森下洋一さんのこんな言葉を紹介しました。

**「創造することによって
チャレンジ精神が生まれ、
チャレンジすることによって成長する。
つまり、『創造』と『挑戦』の
繰り返しによって成長するのが
人間なのです。」**

近年、長野県でも台風などの自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大など、これまでに誰もが経験しなかったことが次々と起こっています。

これまでの経験や知識だけでは乗り越えることが難しい、予測困難な世界が今まさに到来しており、中学生が社会人として生きる時代には、さらに様々な分野でAIが伸長・発展していく世の中(=Society5.0)がやってくるといわれています。そんな時代を生きていこうとする中学生に、中学3年間のさまざまな活動の中で、「一人ひとりが自分たちの人生の主人公・主役」として、自分たちで考え、計画し、そのことに思い切って取り組もうというメッセージを伝えました。

令和3年度 新任職員の紹介

**※個人情報のため、
不掲載**

(保護者・地域に配付のものには掲載)

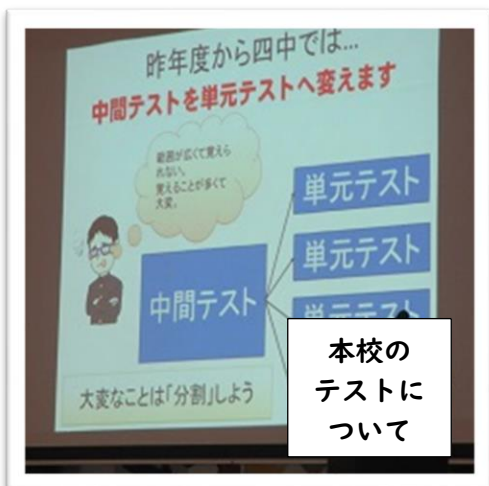


昨年度も実施していた「四中学びの改革」、具体的には「中間テストを廃止し、単元テストへ」「水曜を4時間授業とし、空いた午後の時間を自学自習や生徒自身の発想による創造的な活動に充てる」ことが、今年度さらに方向を見直してスタートしています。

新たな「学びの改革」

～単元テスト・四中アカデミー～

クリエイティブタイム～



本年度は、原則毎週金曜日の朝(8:15～8:35)と水曜日の午後(13:30～13:50)の時間に、各学年・各教科の学習の進度に合わせた「**単元テスト**」を実施していきます。このことにより、各教科の単元終了後、間を空けずに単元テストが実施できるようになり、生徒たちにとっても、**自分自身で、その都度自分の学習の定着状況や課題を把握できるようにします。**

そして、できなかった問題をそのままにしないために、学習をし直して、再度、単元テストに挑戦する「**チャレンジテスト**」も実施していきます。今年度より、数学ではチャレンジテストの点数も成績に反映させていきます。さらに、各自の課題を解決するために、**友や先生方に相談・質問した**

りしながら自学自習を進める「四中アカデミー」を、水曜午後や長期休業に開講します。

また、**生徒の創造性や発想を大事にし、生徒たちが自らの力で学びを進め、深めていくために、「四中クリエイティブタイム」**を設定しています。こちらも昨年度から行っていますが、本年度は1回につき1時間以上の時間を確保するようにしています。

いずれの取り組みも、今年度から実施された新しい学習指導要領のめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現を踏まえてのことであり、またその中の「主体性」のとらえとして説明されている「自らの学びを自らデザインする力」の育成をめざしてものです。まだまだ実際の運用に対する課題も山積していますが、地域や保護者の皆様からも、ご意見を伺いながら改善していきます。

お願い

新型コロナウイルスの感染拡大について、全国・県内でもいまだ予断を許さない状況です。保護者の皆様には、日々の健康観察など、学校教育活動の継続のために多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後もお子さんの命と健康を守るため、またお子さんの本校における学び・活動を続けるために、ご協力をお願いします。

なお、登校や休日の部活動の参加に際して、発熱などのかぜ様の症状がお子さん本人や同居のご家族に見られる場合は、学校にご相談ください。

学校では、「マスクの着用」「手洗い・手指消毒」「部屋の換気・可能な限りの人と人の距離の確保」などの基本的な感染対策と、感染された方に対する人権侵害を防止するため、日常的な道徳教育や人権教育を引き続き進めていきます。よろしくをお願いします。